

# 急性期脳梗塞患者の血管内治療後の頭部 CT・MRI による脳梗塞および脳出血予測の後ろ向き観察研究

2009 年 1 月 1 日～2015 年 3 月 31 日までに脳梗塞のために入院した患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「急性期脳梗塞患者の血管内治療後の頭部 CT・MRI による脳梗塞および脳出血予測の後ろ向き観察研究」という研究を行います。この研究は、201 あたりと 2009 年 1 月 1 日より 2015 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院神経内科にて、急性期脳梗塞のために入院し、血管内治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：急性期脳梗塞患者の血管内治療後の頭部 CT・MRI による脳梗塞および脳出血予測の後ろ向き観察研究  
研究期間：2017 年 3 月 3 日（倫理委員会承認日）～2017 年 5 月 31 日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 神経内科 阿部 新

### (2) 研究の意義、目的について

血管内治療を行った急性期脳梗塞患者の頭部 CT や MRI を解析し、治療後の脳梗塞や脳出血の予測因子となる所見の有無について検討することを目的とします。具体的には、血管内治療後に行われる頭部 CT において造影剤が脳内に残っている場合には将来の転帰にどのような意義があるのかについて検討をいたします。

### (3) 研究の方法について

この研究は、2009 年 1 月 1 日より 2015 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院神経内科にて、急性期脳梗塞のために入院し、血管内治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究です。患者さんの画像所見や採血結果や転帰などを解析し、血管内治療後の脳出血予測因子について解析します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 神経内科 病院講師 阿部新  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6496  
メールアドレス：abe@nms.ac.jp